

<研究名称>

ポマリドミド+デキサメタゾン療法でB型肝炎ウイルスを再活性化した一症例

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 所 属 薬剤部
職 名 薬剤部長
氏 名 橋本 光生
実施担当者 所 属 薬剤部
職 名 薬剤師
氏 名 設楽 愛美

<研究期間>

学会名：第30回日本医療薬学会

開催期間：2020年10月24日～11月1日（オンライン学会）

<診療・研究の目的>

当院ではB型肝炎治療ガイドライン（日本肝臓学会）に基づき対象薬剤を含めた院内ガイドラインを作成していた。それにも関わらず、化学療法終了後にHBV再活性化によるB型肝炎を引き起こす事例が発生した。今回、再発防止を目的として原因追及と院内ガイドラインの見直しを行った。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

化学療法終了後にHBV再活性化によるB型肝炎を引き起こした一例について

- ・再活性化に至るまでの経緯
- ・患者のその後の経過
- ・被疑薬への対応

について検証・調査を行う。

危険性・副作用等 なし

<倫理上問題になると考えられる事項>

なし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 薬剂部 設楽 愛美

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648